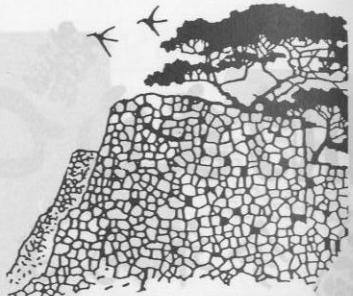


広報 なきじん

毎月1日発行

1

1994
No.218



今年は・戌年・

今帰仁村の人口

平成5年11月30日現在



男 4,788(±0)



女 4,817(-2)



世帯数
3,099(+4)

村の人口
9,605(-2)

今年の干支は戌=犬は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。もともと、野生のオオカミやジャッカルを飼いならしたのが、人間とパートナーを組む始まりとなつたようです。

表紙の写真は、字仲尾次の仲村清正さんが飼育している琉球犬で名前は「チーコ」三才。

琉球犬は、一名「トウラー・アカイン」の名称で呼ばれ、その毛色模様から方言でトウラーと総称されている。その特徴は、性質がおとなしい、外見上はストックが浅くピーンと立った耳とその左右が広い。臭覚は、鋭く敏捷性で勇敢でありその反面飼い主に対しては、とても従順の犬である。平成六年の戌年を向かえ村民の皆様には、今年も良い年でありますように。

「学校・家庭・地域の尚一層の連携を」と題して、古宇利小中学校で第5回次実践発表会が開催されました。この発表会では、児童生徒たちが基礎学力向上策や実践活動について発表しました。



学対
第5回次
実践発表会

「朝読み・夕読み」の実践活動の輪広がる

学校・家庭・地域の尚一層の連帯を

実践発表する具志順子先生
が連携して基礎学力の向上を図るには、どうすればよいか
を研究主題に本村の学力向上策第五回次実践発表会」が十一月三十日、古宇利小中学校（宮里康信校長、児童生徒数三十三名）で行われた。

特に、本年度は、学力向上対策六ヶ年計画の最終年次であり、これまでの研究の総仕上げと第二次学力向上対策の基礎固めの年度だと捉え、「徹すれば光る」を合い言葉に重点実践事項の継続実践を行いました。

「学校・家庭・地域の尚一層の連携を始めざして取り組んでおり、その成果が発表された。当日は、村内各学校の先生方を始め、保護者、地域の方々二〇〇名余が参加し公開授業、公開保育（幼稚園）ふれあい読書（小二年）など、へき地小規模校の特性を生かした実践活動が公開され、参加者に大きな感銘を与えた。

引き続き、全体会に移り、西島一将教育長（学対委員長）のあいさつがあり、その後玉城清学校教育課指導主任によると、本村児童生徒の実態や学力向上対策の基本方針、重

中でも、学校・家庭・地域の連携による継続実践への援助活動を強化し、「村ぐるみ」の実践活動の重要性を強調した。

点実践事項等についての報告が行われた。

続いて、古宇利小中学校の連携による継続実践への援助活動を強化し、「村ぐるみ」の実践活動の重要性を強調した。

研究主任によって「わかる授業の工夫・改善」という研究主題に基づいた実践発表が行わ

る。古宇利PTAの小浜美千子会

が行なわれた。

また、「わかる授業研究」の視点を明確にして、授業改善を図り、それを支える条件として指導技術の向上、学習態度の形成を揚げ、これら三つの視点からの研究を試みている。

すなわち、授業改善、指導技術の向上、学習態度の形成をとによって基礎的・基本的事項が身につき基礎学力が向上するものだと考え、幼、小、中連携の基に、全職員が共通理解して取り組み、成果をあげている。

次に、地域での実践発表ができるようになるため、「朝読み・夕読み」を継続実践



公開授業風景

明けましておめでとうございます 今年もよろしくお願ひ致します



助役 大城 勝



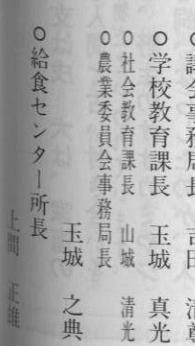
村長 上間 安博



収入役 仲里 吉徳



教育長 西島 一将



上間 正維

ます。
本村では、お陰で、長い間待ち望んでいました古宇利架橋の建設、文化の殿堂というべき歴史文化センターの建設、運天港の整備などの三大プロジェクト事業が、本格的に着工する意義深い年となりました。

また、農業基盤整備事業、フルーツ生産台地事業、農村活性化総合事業などの継続事業並びに村営住宅事業や土地改良事業、生活環境整備など

協力の賜と厚く感謝申し上げます。

行政をあずかる者として、今年も行財政の効率的運用を図り村民の生活向上に向けて、全職員の英知を結集し、より強く、たくましく、互いに手

を握り、少しずつと進んでおります。

一方、少年の翼や、デイサービス委託事業などのソフトライフをまちまして村民が、長い間待ち望んでいました古宇利架橋の建設、文化の殿堂というべき歴史文化センターの建設、運天港の整備などの三大

事業や村民福祉の向上を図ってまいりました。

これもひとえに、村議会をはじめ村民皆様の村行政に対してもひどいご支援と、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

行政をあずかる者として、

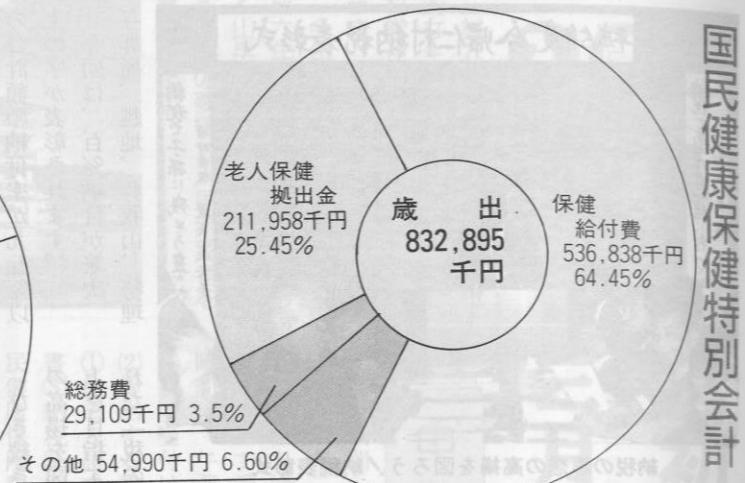
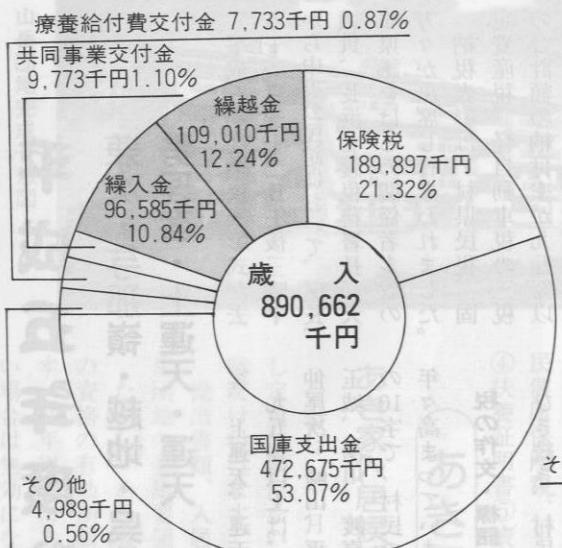
今年も昨年同様、村民皆様

の尚一層のご支援と、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

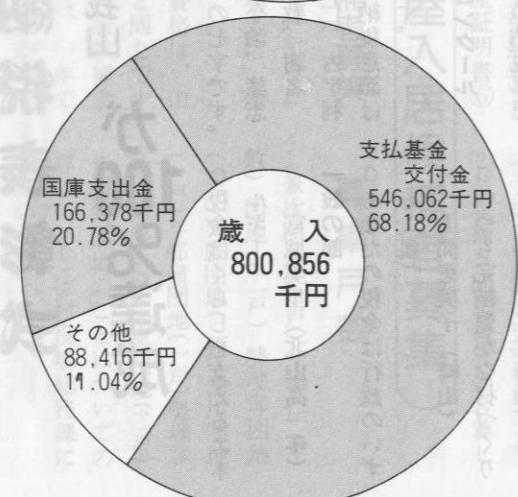
行政をあずかる者として、

一万村民とともに互いに手を合わせ うるおいとやすらぎのある村づくり





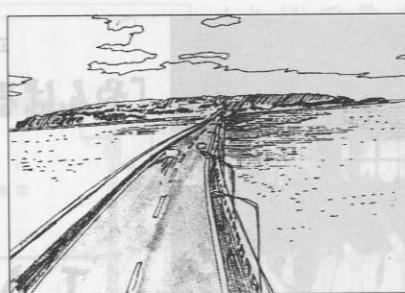
国民健康保健特別会計



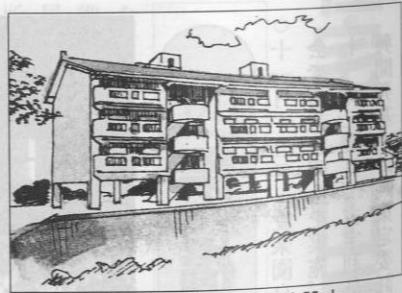
老人保健特別会計



歴史文化センター建設始まる



古宇利架橋実現へ



村営住宅天底山岳に建設中

歳入

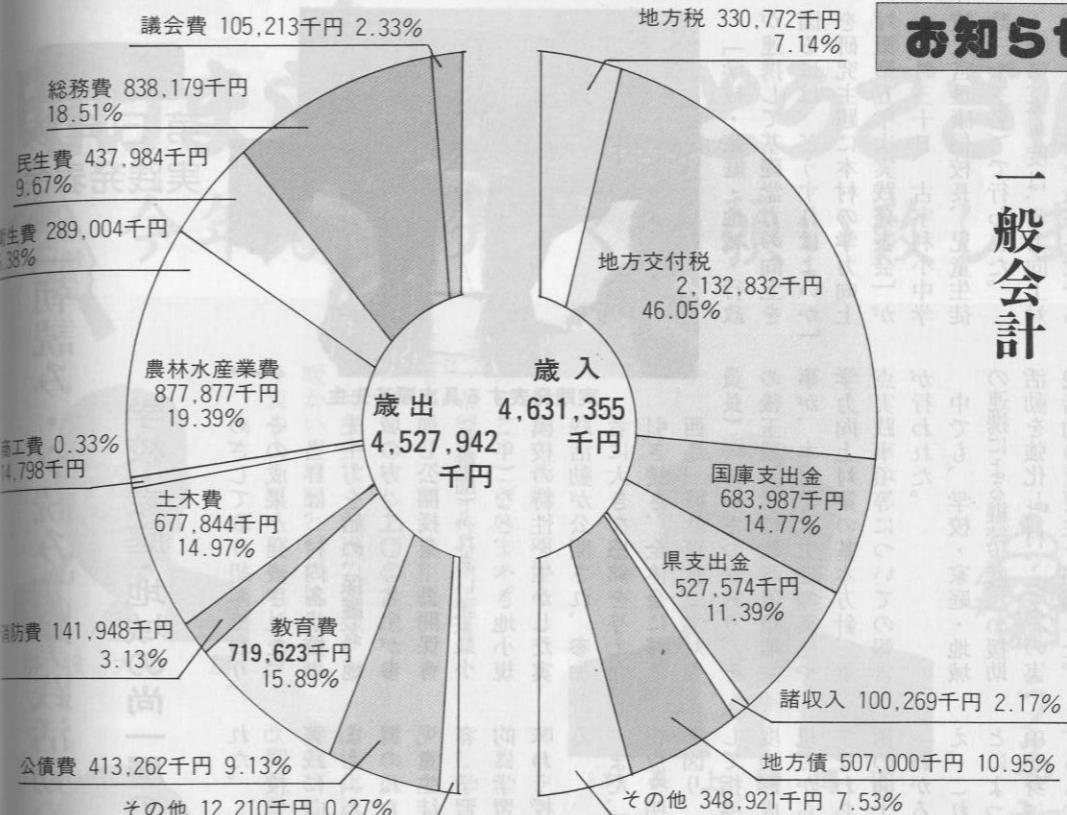
事業収入	142,678	41.13%
国庫支出金	104,400	30.09%
緑入金	32,000	9.23%
村債	55,200	15.91%
その他	12,617	3.64%
合計	346,895	

水道特別会計

歳出	
事業費	244,993
総務費	46,557
公債費	52,801
合計	344,351

あ知らせします

一般会計



村債の内訳

(平成5年3月31日現在)単位千円

過疎対策事業債	1,823,274
義務教育施設整備事業債	221,826
公営住宅建設事業債	235,630
特定資金公共事業債	186,801
一般単独事業債	345,602
公共用地先行取得事業債	57,662
財源対策債	37,731
県貸付金	186,648
臨時財政整備特例債	98,780
一般公共事業債	15,832
災害復旧事業債	14,784
厚生福祉施設整備事業債	5,646
合計	3,235,008

村有財産の状況

(平成5年3月31日現在)

建物	土地
43,221.5m ²	5,799,541.06m ²
車輌	有価証券・基金・出資出損金
28台	1,158,376,429円

- 古宇利大橋環境調査委託業
- 農道整備事業
- 土地改良事業
- 運天漁港整備事業
- 構造改善モデル事業
- 村道整備事業
- 簡易水道事業
- 村営住宅建設事業
- 森林総合利用促進事業

区分年度	歳入総額	対前年度増減率	歳出総額	対前年度増減率
平成4年度	4,631,355千円	+9.04%	4,527,942千円	+7.98%
平成3年度	4,247,374千円	+5.45%	4,193,122千円	+6.65%
平成2年度	4,027,694千円	+8.85%	3,931,617千円	+8.12%



山岳団地完成予想図

あき家入居候補者募集

受付は、二月七日からとし定員に満たない場合は、随時受け付けます。

岳団地の募集要領と同じです。ただし、あき家入居候補者の資格の有効期限は、一年であります。一年以内にあき家ができる場合は無効になります。

募集戸数

- ①住宅入居申込書
- ②所得証明書
- ③納税証明書（村民税、国税）
- ④扶養証明書
- ⑤資産証明書
- ⑥収入証明書

村では、村民の健康で文化的な生活の向上を図る目的で、村営住宅建設を推進しております。

今年度は、字天底地内に平成六年四月一日入居を目指して山岳団地を建築中であります。次の要領で入居希望者を募集します。

入居者募集中**申入方法****(1)受付期間**

平成六年二月七日(月)から二月二十五日(金)までの間、村役場総務課で受付けます。受付時間は、午前九時から午後五時まで受付けます。

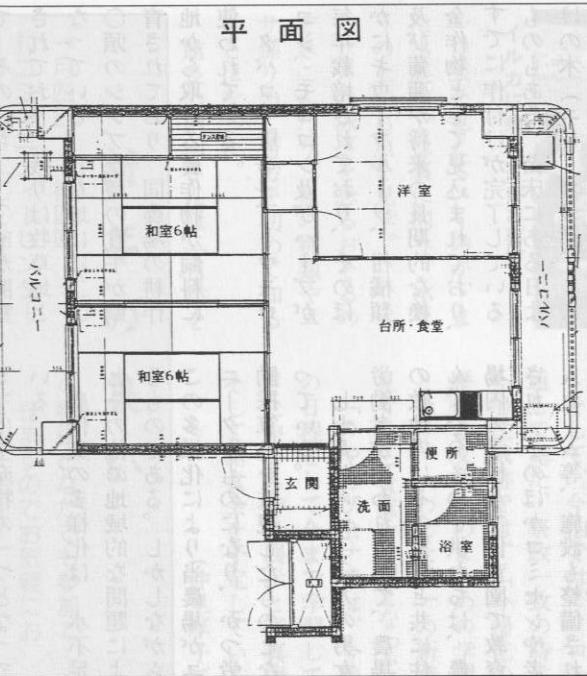
三月末完成めざす**四月一日入居予定****選考方法**

(1)募集戸数
12戸

住民票謄本(6)その他
※所得証明については、十八歳以上の同居をする親族全員の証明が必要です（所得がない場合も含む）。

(2)現に同居し、又は、同居予定の親族（婚姻届を出してないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者、その他の婚姻の予約者を含む）があること。

(3)現に住宅に困窮していることが明らかなる者であること。



た所得)が次に定められた基準以下であること。入居者同居親族の過去一年間における所得金額の合計から定められた金額を控除した額を十二で除した額が十一万五千円以下であること。

(3)現に住宅に困窮していることが明らかなる者であること。

(1)書類審査及び実態調査を行ない募集戸数を超える場合は申し込み者を集めて抽選を行なう。

会で事業説明会を実施。

○十一月十五日 愛樂園自治会
○十一月二十五日 古宇利島振興開発基本計画策定委託業

架橋だより

○十一月二十九日 村議会「古宇利架橋建設推進調査特別委員会」へ事業説明。



平成五年度納税表彰式が去る十一月二十二日午後三時半から中央公民館において、区長、議員、長浜名護税務署長、大城県議をはじめ関係者多数の方々が出席し行なわれました。

納税表彰は、村県民税、固定資産税、軽自動車税の三税の合計額の納付率が九五%以上の字が表彰されます。

今回は、百分百納付が兼次、与那嶺、越地、呉我山、勢理

客、上運天、運天の七字です。九五%以上は、今泊、諸志、仲尾次、崎山、平敷、謝名、玉城、湧川、渡喜仁、古宇利の10字で、村民の納税意識は年々高まっています。

平成五年度納税表彰式が去る十一月二十二日午後三時半から中央公民館において、区長、議員、長浜名護税務署長、大城県議をはじめ関係者多数の方々が出席し行なわれました。

○税金はくらしを支えるエネルギー

○いつも完納豊かな村づくり

○あなたの税金は行政のいずみ（泉）

宮城美里（北山高一年）

一般の部

平成6年4月1日より

「やんばる農業協同組合」として出発

臨時総会で合併承認

J A 今帰仁村

ひき続き、村民の納税思想の高揚を図り、納税成績向上を目指すことを目的に行なれた「税の作文・標語コンクール」の入賞者の表彰が行われました。標語の部に十六点、作文の部に三点の応募があり入選作品が次のとおり決まりました。

○「税のおもう」
○「私たちの生活と消費税」
○「高校生の部 岸本和之（今中二年）」
○「中学生の部 大城知里（北山高二年）」
○「高校生の部 具志友香（北山高一年）」
○「大人たちの義務」
○「大人たちの義務」
○「大人たちの義務」
○「大人たちの義務」

※標語は、納税の啓発を図ため、立看板、封筒等に印刷し、村民に紹介する予定。また、作文につきましては、広報で順次紹介します。



第一号から「設立委員会の選任に関する議案」など八号議案すべて全員一致で承認した。

会一致で承認した。総会に出席した組合員は「農業の活性と組織及び事業機能の充実強化を図り、能力ある農業の確立と豊かな生活の実現をめざしたい」と力強くいきつした。

その後、議事に入り「合併の承認に関する議案」

午後二時から開催された総会で与那嶺勝組合長は「合併する事により真に組合員の信頼と負託に応える事ができる組織及び事業機能の充実強化を図り、能力ある農業の確立と豊かな生活の実現をめざしたい」と力強くいきつした。

その後、議事に入り「合併の承認に関する議案」を審議した。

今年四月一日の広域合併に向け準備を進めている今帰仁村農業協同組合（与那嶺勝組合長）は、十一月十三日村合併ミーティングセンターで、臨時総会を開き合併に関する議案を審議した。

平成五年度納税表彰式

兼次・与那嶺・越地・呉我山・勢理客・上運天・運天 **が100%達成**

平成5年度 祝青年部設立15周年

若者が希望の持てる街づくりを!

商 工 会
青 年 部

設立15周年



式典で嶺井部長

同青年部は、昭

式典であることを述べる嶺井部長
は、「やれ動く経済情勢の波に柔軟性をもつて対処し、村民のためにも荒波をのりこえるようになっていたい」と激励した。

その後、青年部発展に尽力された旧部長の岸本好功さん、島袋健さん、玉城薰さん、平良正利さんとつていていた。

式典終了後、初代部長の金良宗幸氏をお招きしての講演会「商工会青年部に期待する!」も催され、金良氏の真実味のある話に耳をかたむけながら盛んにペンをとつていた。

同青年部は、昭

新年の集い

1月4日、午後四時
村コミュニティーセンター
会費 一五〇〇円

○村民どなたでも参加できますのでお気軽に
お越し下さい。

(仲里厚子)



兼次小
家庭教育学級

「水族館裏側探検」と「わした村今帰仁」親子で体験学習

「イルカは何才まで生きられますか?」……子供達の素朴な質問に答えてくれたのは、海洋博記念公園水族館の長崎さん。兼次小学校家庭教育学級「みやらび会」では、身近な所から親子で学習しようと、このほど「水族館裏側探検」と「わした村今帰仁」と題した体験学習を続けて行なった。

オキちゃんショーでは、かしこい演技を見せてくれるイルカが、どのようにして一つ一つ芸を覚えていくのか、まぶらびに乗っておお喜び

大切な心、公共施設に対するマナー学習にも、水族館を大いに利用して下さい」と話していた。

また、教育委員会の仲原さんの案内による「今帰仁の歴史と文化」探訪も催され、平敷の池城墓をスタートに、仲尾次の石橋や石切場跡などから、今帰仁の石文化を見ることができた。

そして、今泊では、ノロを通して見た、祭政一致の時代の日程として今まで学習してきた中から作品展示と写真展見であり、貴重な学習となつた。

「みやらび会」では、今後も、日程として今まで学習してきた中から作品展示と写真展そして給食会を予定している。



大城勝助役

沖縄県町村会南アフリカ共和国視察研修団は、平良昇康東村長を団長に九町村の代表と事務局が参加して南アフリカを視察研修しました。

気候と自然

南アフリカは南半球に位置し、年間平均気温十八度前後という温暖な国。四季は日本と全く逆で、六月～八月が冬十二月～二月が夏、観光客が訪問される七月は冬となります。

ただし、気温差は日本ほど大きくはない、季節感はそれほどきびしくは感じません。最南端のケープタウン沿岸地帯は地中海性の気候で、雨期は五月～八月。東側のインド洋候で雨は一年中に分散されて

いますが、この地方は夜降るのが特徴。内陸高原地帯の雨期は十月～二月ですが、午後遅くサッと降つてすぐ止むスコールです。

一般経済事情と日本人社会

南アは金とダイヤモンドの産出で脚光を浴びたアフリカ大陸随一の経済大国です。全アフリカ大陸からみて面積が5%、人口が6%に過ぎないこの国が、その工業生産高においては総体の四十九%、金、ダイヤモンド、ウラニウムなど工業生産高において全部の五〇%を越え、しかも金産出量は自由世界の中で七十四%をしめるという数字がその富裕さを表しています。南アの本製品の進出が目覚ましく、アフリカ大陸最南端に位置するこの国がいかに日本との深い経済関係にあるかが分かる。

農場について

一、ブルーメンタール農場
(オランダ人)
この農場の広さは十七・六haであり、主な作物は年間を通じて、キャベツと人参からなり、五月から十月はカリフラワー、十一月から五月はさやえんどうとなっている。

労働者は賃金の安い現地人を雇い農業をしているが安定はしていないと感じた。また土質が砂質土で農業機械等は三十年間使い、維持管理が充分されている。

二、ステインフルト・ラステングルク農場 (ドイツ人)

農場にて
ステインフルト・ラステングルク農場にて

なっている。牧草地には二〇〇頭のシンプラー種の乳牛が飼育されており、そのほぼ半数、在留邦人も多く国内各地に駐在している。又、第二の都市ケープタウンにも水産・貿易関係の企業が多く進出している。

それだけに商用で南アを訪れた、長期滞在の日本からの商社マンも急増している。代表的な経済都市ヨハネスブルグにある日本企業も約十社を数え、在留邦人も多く国内各地に駐在している。又、第二の都市ケープタウンにも水産・貿易関係の企業が多く進出している。

大城勝助役南アフリカの旅

農場の広さは一、一〇〇haで、そのうち二〇〇haが開墾されおり、残りは牧草地と地から取れる農作物が飼料に使われている。

タバコ、唐辛子、トウモロコシ、モロコシ及びハーブが毎年栽培されており、そのほかにキウイフルーツ、柑橘類及び葡萄が将来の長期的な換金作物として見込まれており、すでに作付けが完了しているものもある。苗床にある日よけの木(ニレ、カエデ、スズ

カケなど)クリスマスの木(モミ)は生産物の一つとなつている。

農業の多様化は、水不足とその他の地域的な問題によるものである。しかしながらこの多様化により当農場がユニークなものになり、かつ労働採算性を重視したものとなつていている。

七十人から一〇〇人の男女労働者が雇われていて、農場の敷地内にその家族と共に住んでいる。その子供たちは、農場内の学校及び保育園で教育され、そのほかコミセンや老人ホーム等、施設も整備され

た。この多様化により当農場がユニークなものになり、かつ労働採算性を重視したものとなつていている。

労働者が雇われていて、農場の敷地内にその家族と共に住んでいる。その子供たちは、農場内の学校及び保育園で教育され、そのほかコミセンや老

人ホーム等、施設も整備され

た。この多様化により当農場がユニークなものになり、かつ労働採算性を重視したものとなつていている。

労働者が雇われていて、農場の敷地内にその家族と共に住

んでいる。その子供たちは、農場内の学校及び保育園で教育

され、そのほかコミセンや老

人ホーム等、施設も整備され

た。この多様化により当農場がユニークなものになり、かつ労働採算性を重視したものとなつて

いる。

茅葺き校舎の「今帰仁中等学校」(昭和二十五~二七年頃)

今帰仁中学校は昭和二三年四月、大井中等学校の名で戦後新しく創設された学校である。学区は今帰仁小学校区と天底小学校区である。当初は学校敷地や校舎がなく、今帰仁(教場)・天底(教場)・湧川(教場)の各初等学校を借りて授業が行われた。昭和二十五年に各初等学校に分離していきたのを統合し、現在地(字天底二三三番地)に学校を建設した。中学校の敷地は天底地番であるが、仲宗根のターバル(田原)と接した場所にある。そこには戦前製糖工場があつた。

昭和二三年に六・三・三制度が敷かれ、昭和二十五年十月には分離していた生徒を一か所に統合し、昭和二七年に校名が今帰仁中等学校から今帰仁中学校へと改称され、現在は戦後新しく作られた学校で、元気で長生きして下さい」と激励。大城勝三氏の祝辞に続き、字発展に貢献された、金城善吉さん、新城俊雄さんのお二人に感謝状が贈呈された。式典のあと、老人会や婦人会による琉舞や日舞など、盛りだくさんの余興で、楽しい人々の日をなごませた。また公民館前では、花木類の即売コーナーもあり、市価より安い品物の人気を集めていた。又、十一月二十八日には、区主催(島袋光敏区長、千三百五十

に「今帰仁中等学校長印」が押されていることから、今帰仁中等学校時代であることがわかる。中等学校時代は、現在地に校舎が建てられた昭和二十五年から昭和二八年に「今帰仁中学校」と改称されるまでの四年間である。校舎が建てられたのは、昭和二十五年十月で、撮影はその直後である(写真提供・山内昌雄氏)。

写真をみると手前に水田があり、稻穂が実り、戦後数年経った頃である。敗戦から立ち直りつつある時代で、生活物資はまだ不十分ではあるが、建物や生徒たちの動きに、ゆつたりとした時間の流れを感じられる。昭和二十年から同三十年代にかけて、学校の前方から東側の勢理客、また後方の渡喜仁にかけて水田が広がっていた。学校用の水田があり、生徒たちは実習として田植えや稲刈り作業などに駆り出されることがあつた。

水田と運動場の間を通る道は、仲宗根から運天港へつながる道路である。道沿いに電線が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。

野球をしている。その生徒たちは、今では五十才余りの年齢を重ねている。また、運動場では男子生徒が

柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。カメラに視線を向けている。生徒たちの姿もみられる。清掃をしているのは生徒である。カメラに視線を向けていているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。

柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。

柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。

二本の大きなドラム缶は燃

料タンクである。

校舎を建てるために丘を壇

ておいた。

上にし、そこに茅葺き屋根の校舎が九棟建てられている。校舎は、コンクリートや木の床が敷かれているのではなく土のままであった。そのため、土ばかりが立ち込め、また雨が降ると水が入り込み田んぼ同然になつたといふ。

今帰仁中学校は、あと数年で五十年の歴史を刻むことに成功出し続いている。昭和二十三年頃の一枚の写真が、学校の様子やそこで学んでいた生徒たちの姿を遠くから写し出している。学校で学び、卒業生を世に送り出し、現在でも

た雨が降ると水が入り込み田んぼ同然になつたといふ。

今帰仁中学校は、あと数年で五十年の歴史を刻むことに成功出し続いている。昭和二十三年頃の一枚の写真が、学校の様子やそこで学んでいた生徒たちの姿を遠くから写し出している。学校で学び、卒業生を世に送り出し、現在でも

た雨が降ると水が入り込み田んぼ同然になつたといふ。

柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。柱が一本あるが、電気は流れているのだろうか。道沿いで車を走らせる車の音が聞こえる。

▲茅葺き校舎の「今帰仁中等学校」(昭和25~27年頃)

(歴史文化センター準備室)

1994年(平成6年)1月1日

広報なきじん

(1)

1994年(平成6年)1月1日

広報なきじん

(10)

敬老会、菊展示会を開催

金城善吉さん、新城俊雄さんに感謝状

仲宗根区



心を込めて育てられた作品。

第16回

J A 今帰仁が一年連続優勝 各種団体ソフトボール大会

決勝戦は、二連覇をねらう

J A 今帰仁と実力ナンバーワンの議会との対戦となつたが、

試合運びのうまさと玉城投手の力投で昨年に続き、J A 今帰仁が、二度目の優勝を飾った。

各賞は、次のとおり。

○殊勲賞—玉城博之(J A 今

帰仁)

○敢闘賞—座間味栄立(議会)

○打撃賞—長浜勝淳(J A 今

帰仁)

第一回村少年少女スープードッチ大会 今泊チームが完全優勝(三部門)

第一回今帰仁村少年少女スープードッチ大会(村教育委員会、村青少年健全育成協議会主催)が十一月二十八日、

十一月十九日、村運動公園サ

ーフトボール大会(区長会主

催)がやわらかな秋空の下、

十一月十九日、村運動公園サ

ーフトボール大会(区長会主

催)がやわらかな秋空の下、

十一月十九日、村運動公園サ

ーフトボール大会(区長会主

催)がやわらかな秋空の下、

十一月十九日、村運動公園サ

ーフトボール大会(区長会主

催)がやわらかな秋空の下、

十一月十九日、村運動公園サ

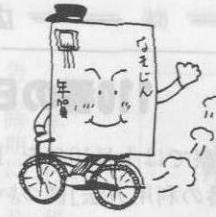
ーフトボール大会(区長会主

この大会は、各種団体の親善並びに健康増進を図ることを目的に行なわれているもので、今大会には、JA 今帰仁、

1月/睦月

村民カレンダー

1994年



1/1 土	○元旦 ○役場年始休
2 日	○初荷、初夢、書き初め ○役場年始休
3 月	○役場年始休
4 火	○御用始め ○成人式(14:00~16:00コミセン) ○新年の集い(16:00~コミセン)
5 水	○区長会(役場) ○幼児ことばの教室、ディサービス (土・日・祝除く毎日9:00~17:00コミセン)
6 木	○3学期始業式
7 金	
8 土	○学校休業日 ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
9 日	○第16回新春ロードレース 午前10時運動公園スタート
10 月	○子豚セリ ○110番の日
11 火	○乳児健診(13:00~14:00コミセン)
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	○成人の日
16 日	○牛セリ(セリ市場)

17 月	○北部看護学校出願締切日
18 火	
19 水	○玉城弁護士による無料法律相談(10:00~16:00コミセン) ○心配ごと相談所(10:00~16:00コミセン) ○ツ反(14:30~15:30コミセン)
20 木	○区長会(役場)
21 金	○B C G(14:30~15:30コミセン)
22 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
23 日	○第9回今帰仁村生涯学習大会(14:00~コミセン)
24 月	
25 火	
26 水	○文化財防火デー ○心配ごと相談所(13:00~17:00コミセン) ○子豚セリ(セリ市場)
27 木	○母子保育員研修会
28 金	○酒田村来村(~31日まで)
29 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
30 日	○第1回沖縄県高校新人駅伝競走大会 役場前スタート~ゴール
31 月	○村営保育所申込みの締切日
2/1 火	

玉城淨栄氏(円淨寺住職)
より多額の寄付



贈呈にあたり玉城淨栄氏は、「私を育ててくれた古里に、少しでもお役に立てれば」と贈呈の理由を話された。贈呈式は、十二月七日、中央公民館で行なわれ玉城氏より上間博安村長に目録が手渡された。

今帰仁村民憲章

一、みんなで守ろう
自然と文化遺産を
惠まれた

一、みんなでつくろう
いとやすらぎのある村を

一、みんなで育てよう
のびゆ

一、みんなでめざそう
く力と豊かな心

一、みんなでめざそう
希望に満ちた村を

一、みんなでめざそう
希望に満ちた村を

一、みんなでめざそう
希望に満ちた村を

健康で
明